
僕の親は無限の欲望

楚良

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の親は無限の欲望

【Nコード】

N2357BA

【作者名】

楚良

【あらすじ】

気が付いたら目の前には神様が！

主人公はなんでか前世の記憶を持たぬまま転生！

転生先はまさかのスカリエッティのアジト！？

他の転生者がいる中、原作知識どころか前世の記憶がない主人公はどうするのか！？

プロローグ？（前書き）

どうも、楚良です。

頑張って完結まで持ってい行けるよう頑張ります。

ちなみに転生もの初挑戦です。

応援してくれたらうれしいです。

プロローグ？

「突然だがお主には転生してもう」

「はあ？」

少年が気がつくところそこは一面真っ白。

水平線の向こうまでが真っ白で、障害物はおるか、雲も太陽も何も
ない空間だった。

そして少年の眼の前には無駄に髭の長い老人。

一瞬、頭打っておかしくなったか？と思ってしまっが、この老人は
限りなく正常だ。

「おじいさん、何言ってるの？もしかしておばあちゃんが死んだか
ら狂って」

「すまんがわしは正常じゃよ。話を進めたいんじゃないか？」

「ダメって言ったら？」

「地獄に墜とす」

「サーイエッサー！」

〈老人の説明開始〉

この老人はなんと神という存在だった。

少年は神に少しだけだが喧嘩を売っていたのだ。

しかし、この神様は本当に優しい。
そんなことをなかつたかのように接してくれた。
しかも人の心が読めるらしく、少年の考えたことは筒抜け。
少年はビックリしていたが、そこまで驚かれなかつたことに神様は
少し落ち込んだとか。

それと転生させてもらえる理由が気まぐれらしい。
適当に選んだのがこの少年ということだ。

「という訳で好きな望みを言え。何でもかなえてやるぞ」

「その前にどの世界に転生するの?」

「そういえば言ってなかつたの。『リリカルなのは』の世界じゃ」

「・・・マジ?」

「大マジじゃ」

『魔法少女リリカルなのは』

二次創作などではよく見かけたりする。

各言つこの少年も結構好きなアニメでもあるのだ。

そこで少年はあることを思いつく。

神様が何でもかなえてくれると言つことなので早速頼んだ。

「それと、スカリエツティ側」

「良いじゃろう。して、他には?」

「そして最後に」

「前世の記憶を消してくれ。原作知識も全部」

「……お主、本気で言っておるのか？」

「おう、二度目の人生だ。前世の記憶に邪魔されたら詰まんないだろ？」

「はっはっはっ！お主のような人間は始めてじゃ！よし、これも何かの縁。特別特典を授けよう！」

「いらないけど、一応受け取っておくよ」

「それと、最後に忠告じゃ。お主の他にも転生者はおる。気を付けるのじゃぞ」

「……記憶消すんだからそれ意味なくね？」

「つべこべ言わんで、行って来い」

そう言つと、少年の足元が丸く、黒くなる。

さらに言つと脚が地面についている感覚がなくなった。
つまりは

「落ちんのかよーっ!!!」

プロローグ？（後書き）

次回はキャラ紹介（たぶん
その次から本編となります。

キャラ紹介

名前：アイク（人造魔導師なので名前のみ）

年齢：10歳

性別：男

容姿：黒髪、金色の瞳

性格：家族思い

スカリエッツィだけ異常程と言っていていいほど大切にしている

術式：古代ベルカ式

備考：オリ主でも何でもないとただの転生者。

前世の記憶を消してもらおうという暴挙に出たため神様のお気に入り
になったらしく、特別特典で『風』との変換資質と『戦いの才能』
を貰うが転生前の記憶がないので知らない。しかしナンバーズ達と
の訓練中変換資質を使えることに気づく。

転生先の条件を「スカリエッツィ側」としか言っていないので突然
アジトの目の前にいたとかではなくスカリエッツィの駒として作ら
れた人造魔導師になって転生。

そのため本人はスカリエッツィを「父さん」と呼んでいる。

魔力光は何が起きたのかわからないが無色透明。

基本、魔法陣を展開すると白色となる。

ユニゾンデバイスとユニゾンすると魔力光が無色透明なので、シグ

ナムとアギト、はやてとリインと言ったペアよりも融合率が高く、融合機を選ばない体質。だがその肝心の融合機がないのでその体質は無意味なものとなっている。

デバイスはスカリエッティが作ったインテリジエントデバイス『ラグネル』。通常のシュベルト（Schwert）フォルム、速さに特化した逆手二刀流のタクオン（tachyon）フォルム、一撃の威力に長けた超巨大剣ザンバー（zanber）フォルムの3種類。

カートリッジ内蔵型でレヴァンティンと似た構造。

無口だが物凄く高性能なデバイス。

バリアジャケットを着ると必ず白い鉢巻を付ける。

メインカラーが白の騎士甲冑。スピード重視なため籠手と胴当ては付けていない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2357ba/>

僕の親は無限の欲望

2012年1月6日12時45分発行